

- ブレーキを濡れたままにしない
- ▶ 水によってブレーキの効き具合が悪くなる  
ことがあります。洗車後は十分に乾かし、  
慎重なブレーキ操作を心がけてください。
- ワックス、ケミカル類や油脂類を扱うとき
- ▶ ブレーキやタイヤにオイル等の油脂類、ワッ  
クスやケミカル類が付着しないよう注意し  
てください。ブレーキが効かなくなり、事故  
の原因になる場合があります。
- ▶ ワックスやケミカル類を使用するときは、ボ  
ディーが目立たないところでもりや傷、色  
むらなどが生じないか確認してください。  
種類によっては塗膜が薄くなったり色むら  
が生じるものがあります。
- ▶ つや消し塗装が使われている場合は、塗装面  
にワックスやケミカル類を使用すると、つや  
消し感が無くなったり、色むらが生じるおそ  
れがありますので、使用しないでください。

- ヘッドライトがくもったとき
- ▶ ヘッドライトは雨天走行や洗車などにより、  
レンズ面が一時的にくもることがあります。  
また、ヘッドライト内と外気との温度差によ  
り、レンズ内面が結露することもあります。  
これは、雨天時などに窓ガラスがくもると  
同様の自然現象で、機能上の問題ではありま  
せん。  
また、ヘッドライトの構造上、レンズの縁に  
水滴が付着することがありますが、機能上の  
問題ではありません。  
但し、ヘッドライト内に水がたまっている場  
合や大粒の水滴がついている場合は Honda  
販売店にご相談ください。